



# 313 GC

## 油圧ショベル

# 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

## 目次

仕様 .....	2
エンジン .....	2
旋回機構 .....	2
重量 .....	2
トラック .....	2
駆動系 .....	2
油圧システム .....	2
整備時の補充容量 .....	2
規格 .....	2
騒音性能 .....	2
運転質量および接地圧 .....	3
主要コンポーネント質量 .....	4
寸法 .....	5
作業範囲および掘削力 .....	6
ショベルクレーンの作業範囲 .....	7
ブレード作業範囲 .....	8
バケット仕様および互換性 .....	9
アタッチメント適合ガイド .....	10
標準およびオプション装備品 .....	11
ディーラ装着のキットおよびアタッチメント .....	13
313 GC 環境に関する宣言 .....	14

# 313 GC 油圧ショベルの仕様

## エンジン

エンジンモデル	CAT® C3.6	
定格出力 (ネット)		
ISO 9249	54.3 kW	73 hp
ISO 9249 (DIN)	74 hp (メートル単位)	
エンジン出力		
ISO 14396	55.4 kW	74 hp
ISO 14396 (DIN)	75 hp (メートル単位)	
内径	98 mm	4"
行程	120 mm	5"
排気量	3.6 L	220 <sup>m3</sup>
バイオディーゼル対応	B20 まで <sup>(1)</sup>	

- 米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合。
- 標高 3,000 m (9,840') 未満ではエンジンの出力を下げる必要はありません。
- 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
- 表示されている定格出力 (ネット) は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- エンジン回転数は 2,400 rpm です。

<sup>(1)</sup> CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次を上限として、より低い炭素強度燃料を混合した ULSD\*\* を使用する必要があります。

- ✓ 最大 20% のバイオディーゼル FAME (脂肪酸メチルエステル) \*
- ✓ 最大 100% の再生可能ディーゼル、HVO (Hydrogenated Vegetable Oil、水添植物油)、および GTL (Gas-To-Liquid、ガス液化) 燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。

\* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます (混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください)。

\*\* 排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## 旋回機構

旋回速度	11.5 rpm	
最大旋回トルク	35 kN·m	25,888 lbf·ft

## 質量

運転質量	12,700 kg	28,000 lb
------	-----------	-----------

• 標準足回り、リーチブーム、R2.5 (8'2") アーム、GDX 0.52 m<sup>3</sup> (0.68 yd<sup>3</sup>) バケット、500 mm (20") トリプルグローサシュー、2.14 mT (4,718 lb) カウンタウエイト。

## トラック

標準トラックシュー幅	500 mm	20"
オプショントラックシュー幅	600 mm	24"
オプショントラックシュー幅	700 mm	28"
シューの数 (片側)	43	
トラックローラの数 (片側)	6	
キャリアローラの数 (片側)	1	

## 駆動系

登坂能力	35 °/70 %	
最高走行速度	5.4 km/h	3.4 mph
最大けん引力	117 kN	26,303 lbf

## 油圧システム

メインシステム - 最大流量 - 作業時	247 L/分	65 gal/min
最大圧力 - 装置 - 標準	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 - 走行時	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 - 旋回時	26,000 kPa	3,770 psi
ブームシリンダ - 内径	105 mm	4"
ブームシリンダ - 行程	1,026 mm	40"
スティックシリンダ - 内径	115 mm	5"
スティックシリンダ - 行程	1,147 mm	45"
バケットシリンダ - 内径	95 mm	4"
バケットシリンダ - 行程	939 mm	37"

## 整備交換時の容量

燃料タンク容量	258 L	68.2 Gal
冷却系統、冷却水	15 L	4.0 gal
エンジンオイル	8 L	2.1 gal
ファイナルドライブ (片側)	3 L	0.8 gal
作動油 (全量)	85 L	22.5 gal
作動油タンク	70 L	18.5 gal

## 規格

ブレーキ	ISO 10265: 2008
キャブ / 転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure)	ISO 12117-2:2008
キャブ / オペレータ保護ガード (OPG) (オプション)	ISO 10262: 1998

## 騒音性能

ISO 6395:2008 (外部)	99 dB (A)
ISO 6396:2008 (キャブ内部)	68 dB (A)

- 開放型の運転席やキャブ (適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態) で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 運転質量および接地圧

	500 mm (20") トリプル グロー サシュー		500 mm (20") ラバートラック シュー		600 mm (24") トリプル グロー サシュー		700 mm (28") トリプル グロー サシュー	
	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)	質量 kg (lb)	接地圧 kPa (psi)
ベース車両仕様構成								
トラックローラおよびキャリアローラ付きの ベースフレーム								
2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイト + 標準 足回りベース車両								
リーチブーム + R2.5 (8'2") アーム + 0.52 m <sup>3</sup> (0.68 yd <sup>3</sup> ) GDX バケット	12,700 (28,000)	41.1 (6.0)	12,800 (28,200)	41.4 (6.0)	12,900 (28,400)	34.8 (5.0)	13,100 (28,900)	30.3 (4.4)

すべての運転質量には、燃料タンク 90 % と 75 kg (165 lb) のオペレータが含まれます。

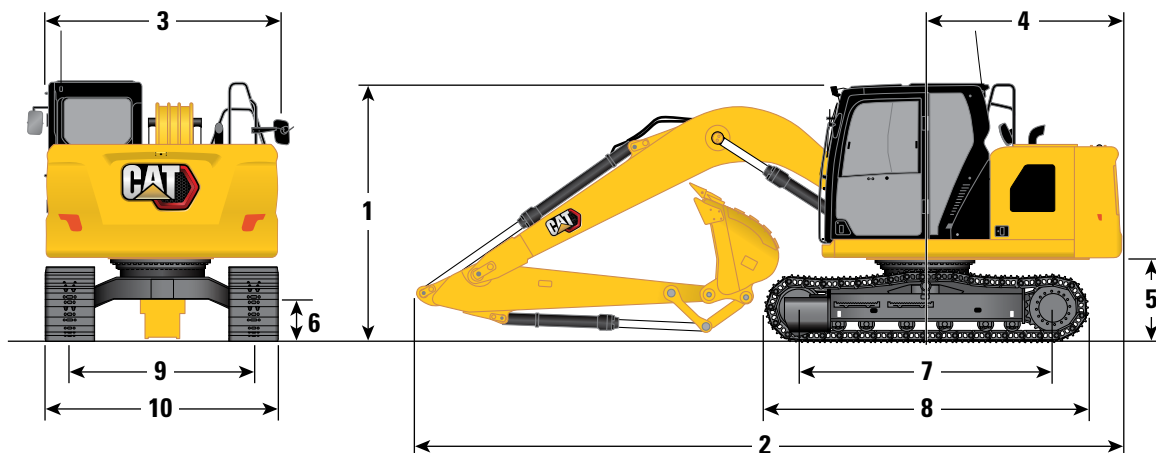
# 313 GC 油圧ショベルの仕様

## 主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース車両質量 (スイングフレーム、標準足回り、カウンタウエイトを含む – ブーム、アーム、バケット、ブームシリンダ、スティックシリンダ、バケットシリンダ、トラック、ブレード、90% 燃料タンク、オペレータを含まない)		
2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイトを含む	8,660	19,100
2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイトおよびブレード互換を含む	8,970	19,800
トラックシュー :		
500 mm (20") トリプルグローサトラックシュー	1,440	3,170
500 mm (20") ラバートラックシュー	1,560	3,400
600 mm (24") トリプルグローサトラックシュー	1,690	3,730
700 mm (28") トリプルグローサトラックシュー、追加ステップ付き	1,890	4,150
ブームシリンダ (2本)	240	530
燃料タンク 90% および 75 kg (165 lb) のオペレータの質量	270	600
ブレード (ライン、シリンダ、フレームの改修を含まない) :		
500 mm (20") のトラックシューと併用する 2,500 mm (8'2") のブレード	440	960
600 mm (24") のトラックシューと併用する 2,600 mm (8'6") のブレード	490	1,080
700 mm (28") のトラックシューと併用する 2,700 mm (8'10") のブレード	500	1,110
カウンタウエイト :		
2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイト	2,140	4,720
スイングフレーム	1,240	2,730
アンダキャリッジ :		
GD トラックローラおよび一体型キャリアローラ付きのベースフレーム	2,520	5,150
GD トラックローラおよび一体型キャリアローラ (ブレード対応) 付きのベースフレーム	2,820	6,210
ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む) :		
リーチブーム 4.65 m (15'3")	1,030	2,270
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む) :		
リーチアーム R2.5 (8'2")	590	1,300
リーチアーム R3.0 (9'10")	650	1,400
バケット (リンケージなし、チップおよびサイドカッタ付き) :		
0.45 m <sup>3</sup> (0.59 yd <sup>3</sup> ) GDX バケット	390	870
0.45 m <sup>3</sup> (0.59 yd <sup>3</sup> ) HDX バケット	460	940
0.52 m <sup>3</sup> (0.68 yd <sup>3</sup> ) GDX バケット	430	900
0.52 m <sup>3</sup> (0.68 yd <sup>3</sup> ) HDX バケット	480	1,060
0.57 m <sup>3</sup> (0.74 yd <sup>3</sup> ) GDX バケット	440	960
0.63 m <sup>3</sup> (0.82 yd <sup>3</sup> ) GDX バケット	460	1,010
0.52 m <sup>3</sup> (0.68 yd <sup>3</sup> ) HDX スケルトンバケット	450	980
バケットピン 2個	20	50
クイックカブラ :		
ピングラバクイックカブラ	210	470
ショベルクレーン :		
フック、バルブ、およびセンサ	50	100
補助バルブ :		
HP 用作動油ライン	140	310

## 寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



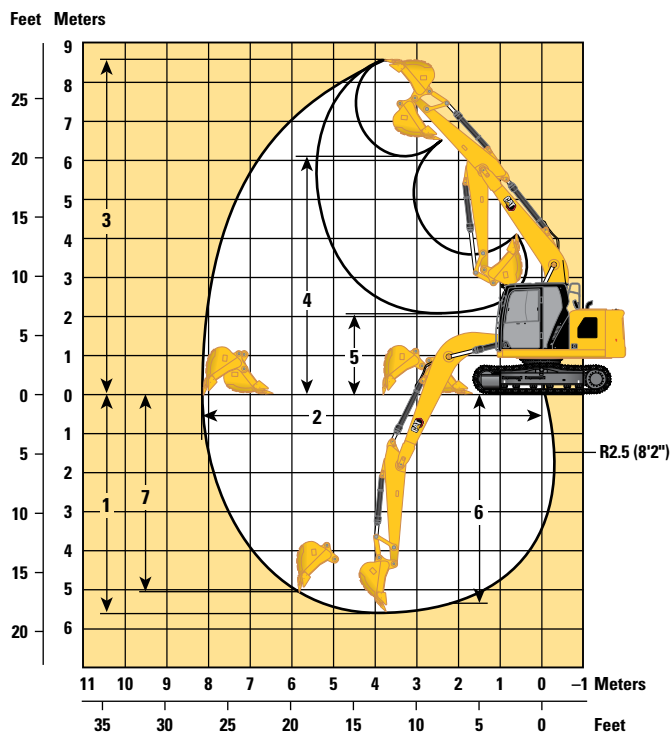
ブームオプション	リーチブーム 4.65 m (15'3")			
アームオプション	リーチアーム R2.5 (8'2")		リーチアーム R3.0 (9'10")	
<b>1 車両の高さ :*</b>				
キャブ最上部までの高さ	2,810 mm	9'3"	2,810 mm	9'3"
OPG 上部高さ	2,950 mm	9'8"	2,950 mm	9'8"
ハンドレール高さ	2,810 mm	9'3"	2,810 mm	9'3"
ブーム/アーム/バケット装着 (スティックシリンダラインを含む)	2,880 mm	9'5"	3,190 mm	10'6"
ブーム/アーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	2,880 mm	9'5"	3,190 mm	10'6"
ブーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	2,370 mm	7'9"	2,370 mm	7'9"
<b>2 機械長さ (ブレードを含まない) :</b>				
ブーム/アーム/バケット装着 (スティックシリンダラインを含む)	7,690 mm	25'3"	7,780 mm	25'6"
ブーム/アーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	7,690 mm	25'3"	7,780 mm	25'6"
ブーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	6,890 mm	22'7"	6,890 mm	22'7"
機械長さ (ブレード、ブレードリアを含む) :				
ブーム/アーム/バケット装着 (スティックシリンダラインを含む)	7,960 mm	26'1"	8,050 mm	26'5"
ブーム/アーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	7,960 mm	26'1"	8,050 mm	26'5"
ブーム装着 (スティックシリンダラインを含む)	7,170 mm	23'6"	7,170 mm	23'6"
<b>3 上部フレーム幅</b>				
	2,480 mm	8'2"	2,480 mm	8'2"
<b>4 後端旋回半径 - 2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイト</b>				
	2,190 mm	7'2"	2,190 mm	7'2"
<b>5 カウンタウエイト下端高さ</b>				
	916 mm	3'0"	916 mm	3'0"
<b>6 最低地上高</b>				
	446 mm	1'6"	446 mm	1'6"
<b>7 タンブラ中心距離</b>				
	2,780 mm	9'1"	2,780 mm	9'1"
<b>8 トラック全長</b>				
	3,490 mm	11'5"	3,490 mm	11'5"
<b>9 クローラ中心距離</b>				
	1,990 mm	6'6"	1,990 mm	6'6"
<b>10 トラック幅 / 足回り幅 :</b>				
500 mm (20") シュー	2,490 mm	8'2"	2,490 mm	8'2"
600 mm (24") シュー	2,590 mm	8'6"	2,590 mm	8'6"
700 mm (28") シュー、ステップ付き	2,690 mm	8'10"	2,690 mm	8'10"
バケットタイプ	GDX		GDX	
バケット容量	0.52 m <sup>3</sup>	0.68 yd <sup>3</sup>	0.52 m <sup>3</sup>	0.68 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,230 mm	4'0"	1,230 mm	4'0"

\* ラバートラックシュー付きモデルの場合は、40 mm (1.6") が車両の高さの寸法に追加されます。

# 313 GC 油圧ショベルの仕様

## 作業範囲および掘削力

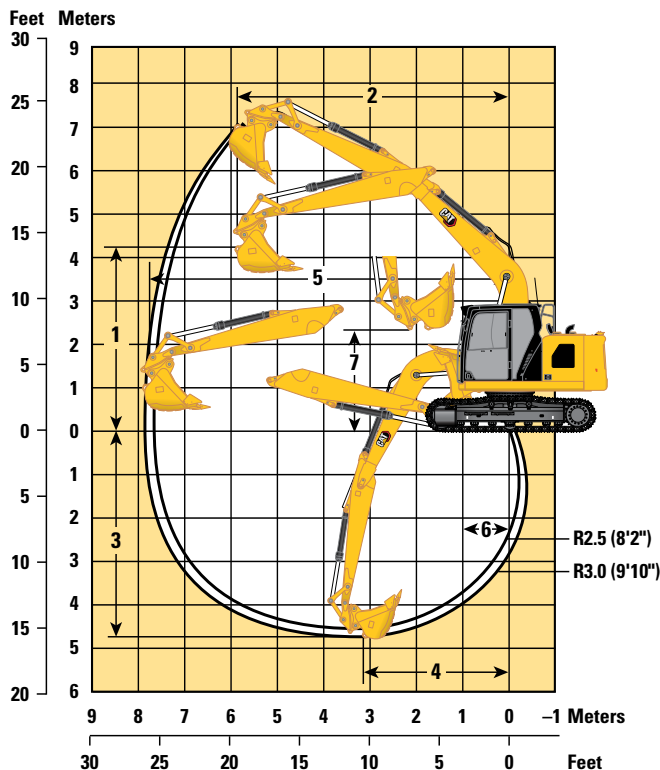
すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション アームオプション	リーチブーム 4.65 m (15'3")			
	リーチアーム R2.5 (8'2")		リーチアーム R3.0 (9'10")	
1 最大掘削深さ	5,540 mm	18'2"	6,040 mm	19'10"
2 最大床面掘削半径	8,190 mm	26'10"	8,650 mm	28'5"
3 最大掘削高さ	8,580 mm	28'2"	8,860 mm	29'1"
4 最大ダンプ高さ	6,150 mm	20'2"	6,430 mm	21'1"
5 最小ダンプ高さ	2,090 mm	6'10"	1,610 mm	5'3"
6 2,440 mm (8'0") のレベルボトムでの最大切削深さ	5,330 mm	17'6"	5,850 mm	19'2"
7 最大垂直掘削深さ	5,030 mm	16'6"	5,520 mm	18'1"
最小作業半径	2,430 mm	8'0"	2,570 mm	8'5"
バケット掘削力 (ISO)	98.43 kN	22,130 lbf	98.65 kN	22,180 lbf
アーム掘削力 (ISO)	66.51 kN	14,950 lbf	59.17 kN	13,302 lbf
バケットタイプ	GDX		GDX	
バケット容量	0.52 m <sup>3</sup>	0.68 yd <sup>3</sup>	0.52 m <sup>3</sup>	0.68 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	1,230 mm	4'0"	1,230 mm	4'0"

## ショベルクレーンの作業範囲

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション

リーチブーム 4.65 m (15'3")

アームオプション

リーチアーム

R2.5 (8'2")

R3.0 (9'10")

リフト能力

最大	2.9 mt	6,390 lb	2.9 mt	6,390 lb
最小リーチ	2.9 mt	6,390 lb	2.9 mt	6,390 lb
最大リーチ	1.2 mt	2,650 lb	1.0 mt	2,200 lb

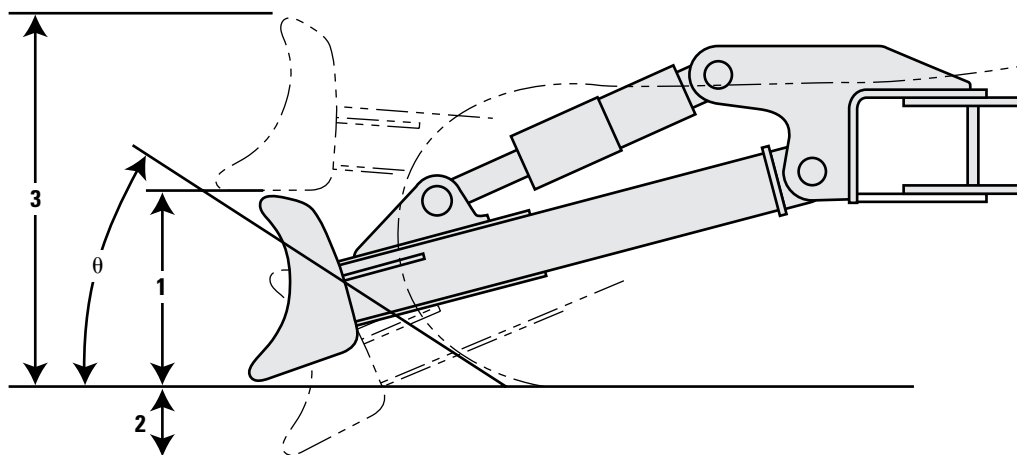
リフト範囲

1 最大高さ	4,340 mm	14'3"	4,230 mm	13'10"
2 最大高さでの最大長	5,400 mm	17'9"	5,890 mm	19'4"
3 最大リフト深さ	4,230 mm	13'10"	4,730 mm	15'6"
4 最大深さでの最大長	3,160 mm	10'4"	3,160 mm	10'4"
5 最大長	7,290 mm	23'11"	7,750 mm	25'5"
6 最小長	1,080 mm	3'6"	1,000 mm	3'3"
7 最小長での最大高さ	2,460 mm	8'1"	2,310 mm	7'7"

# 313 GC 油圧ショベルの仕様

## ブレード作業範囲

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブレードオプション	2,500 mm (8'2")		2,600 mm (8'6")		2,700 mm (8'10")	
1 ブレード高さ	616 mm	2'0"	616 mm	2'0"	616 mm	2'0"
2 地上からの最大下降深さ	550 mm	1'10"	550 mm	1'10"	550 mm	1'10"
3 地上からの最大上昇高さ	1,018 mm	3'4"	1,018 mm	3'4"	1,018 mm	3'4"
θ アプローチ角度	23 °		23 °		23 °	



## バケット仕様および互換性

		mm	in	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>	kg	lb	%	2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイト リーチブーム	
									R2.5 (8'2")	R3.0 (9'10")
<b>ピンオン (クイックカブラなし)</b>										
標準デューティ掘削	312	800	32	0.45	0.59	383	845	100	●	●
	312	900	35	0.52	0.68	409	903	100	●	●
	312	950	37	0.57	0.75	427	942	100	●	◎
	312	1,000	39	0.63	0.82	448	989	100	◎	⊖
ヘビーデューティ掘削	312	800	32	0.45	0.59	439	967	100	●	●
	312	900	35	0.52	0.68	467	1,029	100	●	◎
ヘビーデューティ掘削 (スケルトン)	312	900	35.4	0.52	0.68	446	983	100	●	◎
法面	312	1,800	71	0.29	0.38	436	962	100	●	●
	312	1,800	71	0.52	0.68	453	998	100	●	◎
ピンオン装着時の最大荷重 (積載質量 + バケット)								kg	1,660	1,470
								lb	3,668	3,240
<b>CAT ピングラバカブラ装着</b>										
標準デューティ掘削	312	800	32	0.45	0.59	383	845	100	●	◎
	312	900	35	0.52	0.68	409	903	100	●	⊖
	312	950	37	0.57	0.75	427	942	100	◎	⊖
	312	1,000	39	0.63	0.82	448	989	100	⊖	○
ヘビーデューティ掘削	312	800	32	0.45	0.59	439	967	100	●	◎
	312	900	35	0.52	0.68	467	1,029	100	◎	⊖
ヘビーデューティ掘削 (スケルトン)	312	900	35.4	0.52	0.68	446	983	100	◎	⊖
法面	312	1,800	71	0.29	0.38	436	962	100	●	●
	312	1,800	71	0.52	0.68	453	998	100	◎	⊖
カブラ装着時の最大荷重 (積載質量 + バケット)								kg	1,464	1,270
								lb	3,228	2,800

上記の負荷は油圧ショベル規格の EN474-5:2006 + A3:2013 に準拠しており、フロントリンケージを地上ラインまで完全に伸ばしてバケットを縮めた状態で、油圧リフト能力の 87%、またはチッピング容量 (バケット転倒容量) の 75% を超えないようになっています。

容量は ISO 7451:2007 に準拠しています。

### マテリアルの最大密度:

- 2,100 kg/m<sup>3</sup> (3,500 lb/yd<sup>3</sup>)
- ◎ 1,800 kg/m<sup>3</sup> (3,000 lb/yd<sup>3</sup>)
- ⊖ 1,500 kg/m<sup>3</sup> (2,500 lb/yd<sup>3</sup>)
- 1,200 kg/m<sup>3</sup> (2,000 lb/yd<sup>3</sup>)

Caterpillar 社では、製品から最大限の価値を得られるように適切なワークツールを使用するようお勧めしています。質量、寸法、流量、および圧力などに関する、Caterpillar 社の推奨事項や仕様に沿わないワークツール (バケットを含む) を使用すると、生産性、安定性、信頼性、またはコンポーネントの耐久性が低下するなど、最適な性能を得られない場合があります。また、引きずる、てこのようにこじる、ねじる、重量物を受け止めるなど、ワークツールの誤使用は、ブームおよびアームの耐用年数低下につながります。

# 313 GC 油圧ショベルの仕様

## アタッチメント適合ガイド

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご購入いただけるコンフィギュレーションについては、お近くの Cat ディーラにお問い合わせください。

適合

\* 作業範囲はフロントのみ

### ピンオンアタッチメント

カウンタウエイト		2.14 mt (4,718 lb)	
ブームの種類		リーチ	
スティックの長さ		2.5 m (8'2")	3.0 m (9'10")
油圧ブレーカ	H110 GC サイドマウント	✓	✓
	H110 S	✓	✓
	H115 S	✓	✓

### CAT ピングラバカプラアタッチメント

油圧ブレーカ	H110 GC サイドマウント	✓	✓
	H110 S	✓	✓
	H115 S	✓	✓*

## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>ブーム、アーム、リンケージ</b>			<b>CAT テクノロジー</b>		
4.65 m (15'3") リーチブーム	✓		VisionLink®	✓*	
2.5 m (8'2") リーチアーム		✓	VisionLink 生産性		✓
3.0 m (9'10") リーチアーム		✓	リモートフラッシュ	✓	
バケットリンケージ (リフティングアイなし)	✓		<b>電気系統</b>		
ショベルクレーン用リフティングフック付きバケットリンケージ		✓	メンテナンスフリーバッテリー	✓	
<b>キャブ</b>			集中配置された電気系統ディスコネクトスイッチ	✓	
ROPS	✓		LED シャーシライト、左ブームライト、キャブライト	✓	
高解像度 203 mm (8") LCD タッチスクリーンモニター	✓		LED 右ブームライト		✓
自動バイレベルエアコン	✓		プログラム可能な消灯遅延機能付き LED 作業灯	✓	
モニター操作用ジョグダイヤルおよびショートカットキー	✓		360° 照明		✓
キーレスプッシュスタート式のエンジン制御	✓		<b>エンジン</b>		
高さ調整可能なコンソール (工具で 3 段階に調整)	✓		Cat® C3.6、シングルターボディーゼルエンジン	✓	
固定式の左側コンソール	✓		選択可能な 2 つのモード: パワー、スマート	✓	
機械式サスペンションシート	✓		オートマチックエンジンスピードコントロール	✓	
51 mm (2") シートベルト	✓		オートエンジンシャットダウン機能	✓	
Bluetooth® ラジオ (USB/Aux ポート付き)	✓		52 °C (125 °F) の高い周囲温度にも対応する冷却機能で出力低下なく稼働	✓	
12 V DC コンセント	✓		寒冷時始動機能 (-18 °C (0 °F) まで)	✓	
書類収納スペース	✓		可変速度ファン (流体クラッチタイプ)	✓	
ドリンクホルダ	✓		シングル燃料ろ過システム (ウォータセパレーターおよびウォータインジケータ付き)	✓	
カップホルダ	✓		プレクリーナー内蔵の密閉式ダブルエレメントエアフィルタ	✓	
開閉可能な 2 分割式フロントウィンドウ	✓				(次ページに続く)
リアウインドの緊急用避難口	✓				
ラジアルワイパ (ウォッシュ付き)	✓				
開閉式スチール製ハッチ	✓				
LED 車内灯	✓				
ローラ式フロントサンスクリーン	✓				
ローラ式リアサンスクリーン		✓			
フロアマット (水洗い可)	✓				
ビーコン対応	✓				

\* Connect のサブスクリプションのみ。追加サブスクリプションを利用可能。取扱いについては、お近くの Cat ディーラーにお問い合わせください。

# 313 GC 標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品（続き）

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>油圧システム</b>			<b>足回りと構造</b>		
ブーム / アーム再生回路	✓		グリース潤滑式トラックリンク	✓	
自動作動油加熱機能	✓		500 mm (20") トリプルグローサトラックシュー	✓	
自動 2 速走行	✓		500 mm (20") ラバートラックシュー		✓
電気式メインコントロールバルブ	✓		600 mm (24") トリプルグローサトラックシュー		✓
ブームおよびスティックドリフトリダクションバルブ	✓		700 mm (28") トリプルグローサトラックシュー		✓
旋回ドライブ	✓		2,500 mm (8'2") ブレード		✓
共用配管サポート	✓		2,600 mm (8'6") ブレード		✓
ブームおよびアーム降下防止弁		✓	2,700 mm (8'10") ブレード		✓
中圧ライン		✓	2.14 mt (4,718 lb) カウンタウエイト	✓	
高圧ライン		✓	ボトムガード	✓	
クイックカブラライン		✓	トラベルモータガード	✓	
<b>安全とセキュリティ</b>			センタートラックガイド用ガード		✓
リアビューカメラと右サイドビューカメラ	✓		ベースフレーム上の固定箇所	✓	
油圧ロックアウトレバー	✓				
エンジン停止スイッチ（地上操作可能）	✓				
滑止めプレートおよび皿頭ボルトを備えたサービスプラットフォーム	✓				
信号 / 警告ホーン	✓				
旋回アラーム		✓			
点検用照明		✓			
ブレーカ自動停止機能	✓				
<b>整備とメンテナンス</b>					
エンジンオイルフィルタおよび燃料フィルタをまとめて配置	✓				
サイド乗車式のサービスプラットフォーム	✓				
エンジンオイルレベルゲージ（地上操作可能）	✓				
ロック式ディスコネクトスイッチ	✓				
定期オイルサンプリング（S・O・S <sup>SM</sup> ）ポート	✓				
統合車両状態管理システム	✓				

## ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

### キャブ

- ラジアル下部ワイパ
- ツールコントロールのための左側および右側電気ペダル (2 方向)
- デュアルエグジトリアウインドウキット
- レインプロテクタ + キャブライトカバー
- ポリカーボネート製ルーフハッチ
- キャブフロントウィンドウラミネート加工ガラス (P5A ガラス、EU 解体規制)
- キーフォブ (Bluetooth 対応レシーバで使用)

### ガード

- オペレータ保護ガード (OPG) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントフルガード (メッシュタイプ) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- メッシュガード下半分フロント
- 全体盗難防止ガード

### 安全とセキュリティ

- 幅 76 mm (3") の巻取り式シートベルト
- Bluetooth 対応レシーバ

# 313 GC の環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、車両の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html> をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C3.6 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合しています。
  - CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次を上限として、より低い炭素強度燃料を混合した ULSD\*\* を使用する必要があります。
    - ✓ 最大 20% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）\*
    - ✓ 最大 100% の再生可能ディーゼル、HVO（Hydrogenated Vegetable Oil、水添植物油）、および GTL（Gas-To-Liquid、ガス液化）燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。
- \* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます（混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください）。
- \*\* 排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a（地球温暖化係数 = 1,430）を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 0.85 kg（1.9 lb）で、CO<sub>2</sub> 換算で 1.216 メートルトン（1.340 トン）相当になります。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

## 騒音性能

ISO 6395:2008（外部）	99 dB（A）
ISO 6396:2008（キャブ内部）	68 dB（A）

- 開放型の運転席やキャブ（適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態）で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC）および CAT エクステンデッドライフクーラント（ELC）は、リサイクルできます。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
  - 先進の油圧システムが出力と効率のバランスを維持
  - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます。
  - エコモードは、軽度の用途の場合に燃料消費を最小限に抑えます。
  - ワンタッチローアイドル（オートマチックエンジンスピードコントロール付き）
  - Cat Grade with 2D は、オペレータの効率を最大 45% 高めます。
  - メンテナンス間隔の延長と同時メンテナンスの促進により、メンテナンスコストを最大 25% 削減できます。
  - リモートフラッシュおよびリモートトラブルシューティング

## リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	82.77 %
鉄	4.18 %
非鉄金属	1.88 %
合金	0.30 %
金属および非金属混合物	2.50 %
プラスチック	0.16 %
ゴム	3.30 %
非金属混合物	0.85 %
油水類	2.47 %
その他	1.59 %
未分類	0.00 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714:2008（土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な重量による割合（パーセント単位の重量分率）として定義されます。

部品表のすべての部品は、まず ISO 16714:2008 および日本 CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 95 %



オフロード法2014年  
基準適合



国土交通省指定  
低騒音型建設機械

CAT 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト ([www.cat.com](http://www.cat.com)) をご覧ください。

© 2024 Caterpillar  
All rights reserved

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。VisionLink は Caterpillar 社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地・運搬・積込・掘削用）および（解体用）の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ2862-04 (04-2024)  
AJXQ2862-03 の改訂版  
ビルド番号: 07E  
(Japan)

